

過去に一部が調査されていた古墳を含めて、7基の古墳を調査しています。今回の調査で新たに4基の古墳を発見したことで、遺跡の北東端付近に古墳が密集して分布していたことが明らかになりました。新発見の古墳から計4基の箱式石棺が見つかりました。いずれも保存状態がよく、板石を組んで造られた石棺の構造を詳しく知ることができます。棺内東側には、2枚の板石で死者のための「枕」が設けられていました。これは鳥取県中部の古墳に多く見られる習俗です。

105号墳（新発見）

墳形：円墳
墳丘規模：直径 12 m
埋葬施設：箱式石棺 1（内法長さ 1.75 m 幅 0.45 m）
箱式石棺 2（内法長さ 1.35 m 幅 0.34 m）
箱式石棺 1 のみ蓋石が残存。両石棺で人骨や歯の一部が出土。石枕あり。



▲箱式石棺 1 の蓋石（中央）と箱式石棺 2（左奥）

106号墳（新発見）

墳形：円墳
墳丘規模：直径 7 m
埋葬施設：箱式石棺（内法長さ 1.33 m 幅 0.40 m）
箱式石棺の蓋石が残存。人骨の一部が出土。石枕あり。



▲箱式石棺人骨出土状況

107号墳（新発見）

墳形：円墳
墳丘規模：直径 10 m
埋葬施設：箱式石棺（内法長さ 1.75 m 幅 0.45 m）
木棺（長さ 3.1 m 幅 0.5 m）
赤色顔料を塗布した蓋石が残存。人骨の一部が出土。石枕あり。



▲蓋石検出状況



▲頭蓋骨出土状況

箱式石棺人骨出土状況▶



99号墳

墳形：円墳
墳丘規模：直径 19 m
埋葬施設：不明
平成 10 年度、令和 5 年度に一部調査。墳丘の盛土が良く残っている。墳頂部に後世の盗掘によるとと思われる穴がある。

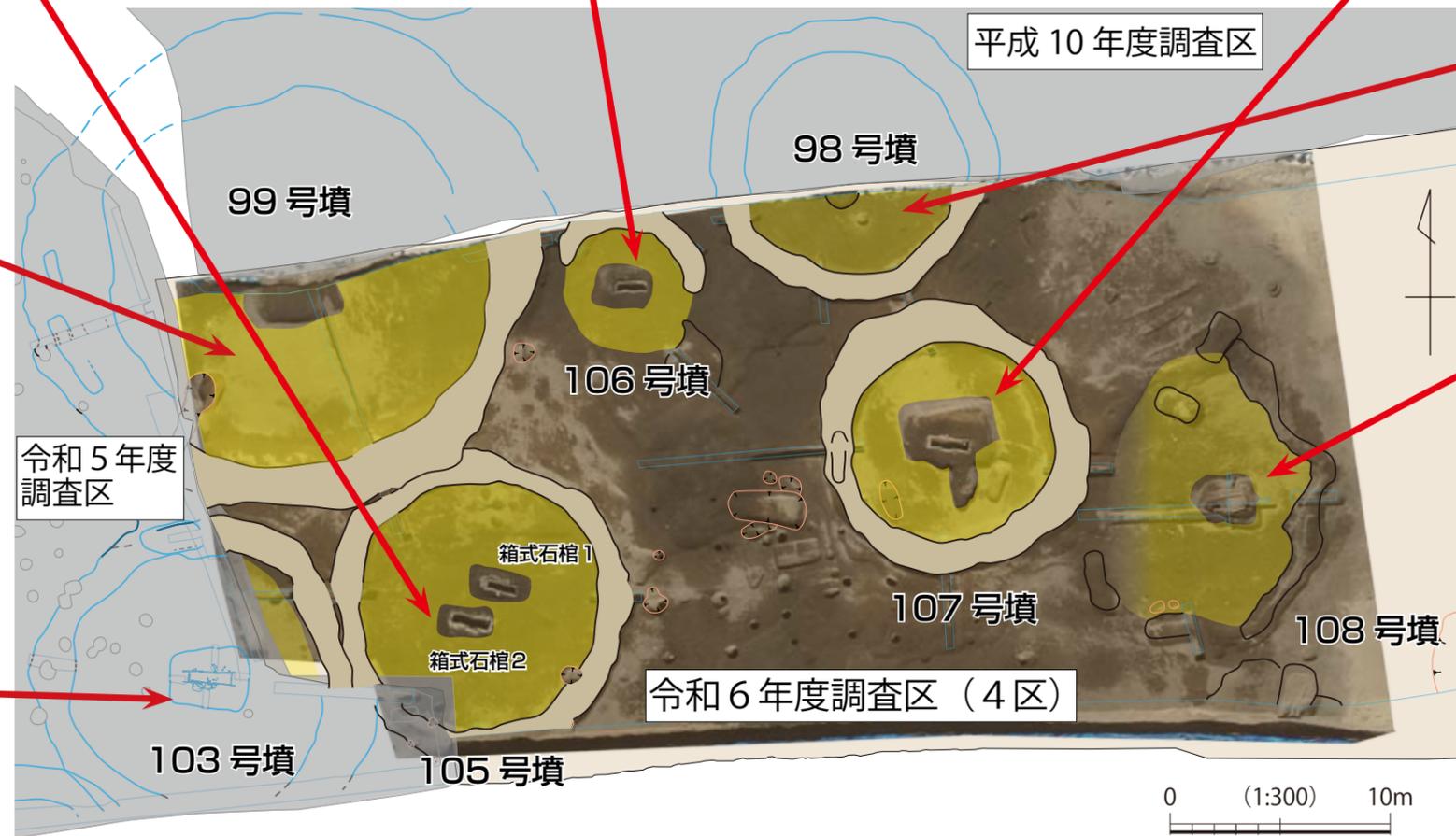
103号墳

墳形：円墳
墳丘規模：直径 13 m
埋葬施設：箱式石棺
（内法長さ 1.91 m 幅 0.45 m）
令和 5 年度に大半を調査。
棺周辺から須恵器、棺内から鉄鏃出土。



▲箱式石棺完掘状況（R5 調査済）

▲103号墳出土鉄鏃



98号墳

墳形：円墳
墳丘規模：直径 11 m（推定）
埋葬施設：不明
平成 10 年度に一部調査。墳丘がほとんど残っていませんでした。

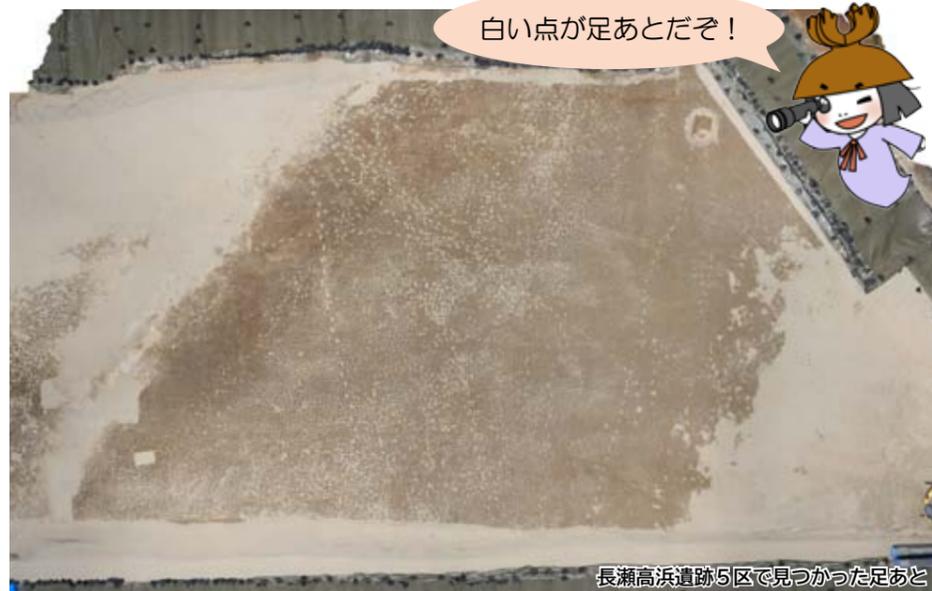
108号墳（新発見）

墳形：円墳
墳丘規模：直径 12 m（推定）
埋葬施設：箱式石棺
墳丘東側は崩落により不明瞭。後世の盗掘により石材はほとんど残っていない。歯の一部や鉄器の破片が出土。



▲歯の出土状況

長瀬高浜遺跡5区は、遺跡の中でもっとも東にあたる地区です。帯状に広がる粘土層に多数の足あとを発見しました。室町時代ごろのものと考えられます。洪水などで溜まった粘土のぬかみを人や動物が歩いた後、短期間でシロスナに埋まり、足あとが遺されました。



白い点が足あとだぞ!

長瀬高浜遺跡5区で見つかった足あと

砂丘に粘土?



この場所は過去の調査で河川と想定されていましたが、今回の調査で砂丘の間の窪地「砂丘間凹地」であることがわかりました。窪地に泥水がたまった結果、粘土層が形成されたと考えられます。粘土層の厚さは2~7cmにもなります。



▲ヒトの足あと ▲小動物(イヌなど)の足あと



▲足あとの切り取り作業

足あとにはヒトの指や土踏まず、動物のツメのあとまではっきりとわかるものがありました。のこりの良いものを選んで切り取り、貴重な足あとを後世に残せるよう保存処理を行いました。

こちらも注目!!

長瀬高浜遺跡発見50周年記念事業 特別展示「砂とうみの物語」・講演会「巨大集落遺跡と埴輪を語る」が開催されます!

特別展示: 10月10日(木)~11月24日(日) 於: 湯梨浜町羽合歴史民俗資料館
講演会: 10月12日(土) 於: ハワイアロホール 詳しくはチラシ・湯梨浜町HPで



主催: 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会

最新情報コーナー

発掘調査の最新情報はホームページやFacebookでチェック! YouTube公式チャンネルでは、遺跡の解説動画や発掘現場リポートを配信中です!

ホームページ



発掘や整理作業でわかった最新情報を随時発信します!



YouTube

きぬちゃんが調査成果を楽しくリポート! チャンネル登録よろしくね!



主催・発行機関 公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室

〒682-0704 東伯郡湯梨浜町南谷528-1 TEL: 0858-35-5335 FAX: 0858-35-5336 HP: http://kyo-bun.sakura.ne.jp/chosasisu.html

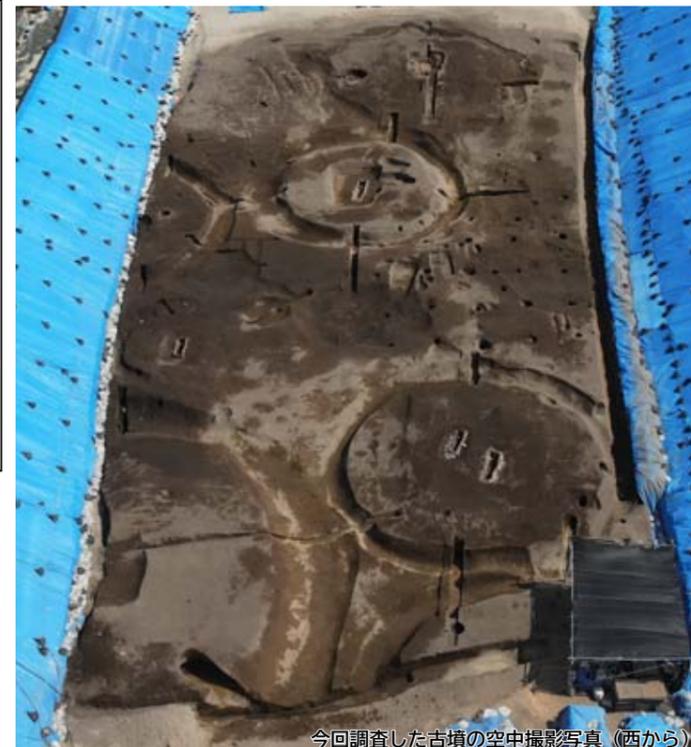
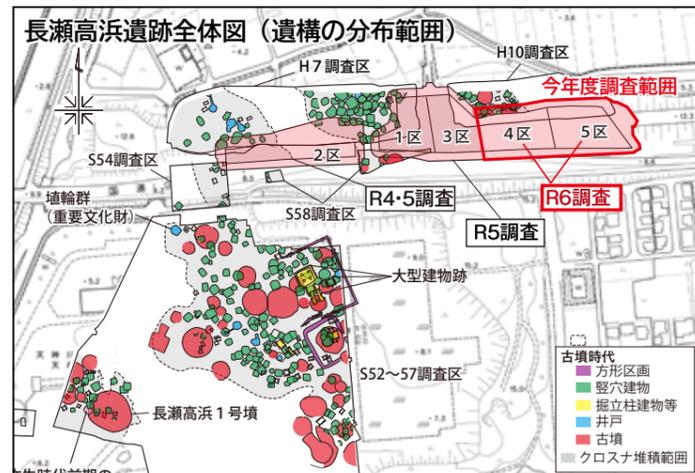


新・長瀬高浜だより

R6 現地説明会 特別号

2024年10月5日発行

公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室では、遺跡の発掘調査や出土品の整理作業など、埋蔵文化財の調査を行っています。令和4年度から一般国道9号(北条道路)改築に伴う長瀬高浜遺跡の発掘調査を開始しました。今号では、令和6年度の最新の調査成果について紹介します。



今回調査した古墳の空中撮影写真(西から)

【調査の概要】
調査地点: 長瀬高浜遺跡4・5区
調査期間: 令和6年5月7日~令和6年11月下旬(予定)
調査面積: 3,632㎡(4区: 1,816㎡、5区: 1,816㎡)

長瀬高浜遺跡とは? ~遺跡の概要と令和の発掘調査~

長瀬高浜遺跡は、鳥取県東伯郡湯梨浜町に所在する砂丘遺跡です。1974年の遺跡確認以降、下水道処理場建設や一般国道9号改築事業などに伴って行われた発掘調査により、集落跡、古墳などの墳墓、畠跡など、多くの遺構が発見されました。国の重要文化財に指定された埴輪群や、金属製品、大量の土器など遺物も豊富で、鳥取県を代表する遺跡の一つです。

前回の調査から約四半世紀が経過した現在、湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下までの区間で建設工事が進められている北条道路の工事範囲に遺跡の一部が含まれているため、令和4年度から3カ年の計画で、はわいインターチェンジ付近の約8,500㎡を発掘調査することになりました。

